

平成 29 年度 定時総会

日 時 : 平成 29 年 5 月 20 日 (土) 12 時 15 分 ~ 13 時 45 分
場 所 : 東京海洋大学 品川キャンパス 2 号館 100A 教室
(〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7)

総会次第

開会

総会の成立確認

議長選出

議事録署名人の選出

審議事項

- 第 1 号議案 平成 28 年度収支決算----- (1)
- 第 2 号議案 監査報告----- (8)
- 第 3 号議案 細則の改定----- (9)

報告事項

- 1. 平成 28 年度事業報告----- (11)
- 2. 平成 29 年度事業計画----- (14)
- 3. 平成 29 年度収支予算----- (17)
- 4. 平成 28 年度 論文賞、奨励賞、奨学ほう賞----- (19)
- 5. 平成 28 年度 航海功績賞----- (20)
- 6. 平成 28 年度会員異動状況----- (21)
- 7. 終身会員の報告----- (21)
- 8. 幹事の交代----- (21)
- 9. その他

閉会

以上

財産目録

平成29年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			
現金	現金手元有高	運転資金として	41,212
預金	普通預金 三菱東京UFJ銀行(深川支店)	運転資金として	456,960
預金	普通預金 みずほ銀行(深川支店)	運転資金として	539,360
預金	普通預金 三井住友銀行(深川支店)	運転資金として	69,629
預金	振替口座 江東牡丹1郵便局	運転資金として	1,401,692
預金	通常貯金 東京貯金事務センター	運転資金として	762,678
預金	普通預金 三菱UFJ信託銀行(本店)	運転資金として	46,381
現金預金合計			3,317,912
未収会費			
未収会費	正会員		350,000
未収会費	学生会員		42,000
未収会費合計			392,000
未収入金	論文掲載料		245,000
流動資産合計			3,954,912
(固定資産)			
投資有価証券	大阪市公募公債(みずほ証券)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	10,000,000
定期預金	三菱UFJ信託銀行(本店)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	2,400,000
投資有価証券	第155回利付国庫債券(SMBC日興証券)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	10,000,000
投資有価証券	第147回利付国庫債券(みずほ証券)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	10,000,000
基本財産合計			32,400,000
特定資産			
退職給付引当資産	定期預金 三菱東京UFJ銀行(深川支店)	職員1名に対する退職金の支払いに備えたもの。	610,500
特別事業引当資産	定期預金 三菱東京UFJ銀行(深川支店)	調査研究事業の各種シンポジウムの開催費用に備えたもの。	11,100,000
特定資産合計			11,710,500
その他の固定資産			
投資有価証券	第155回利付国庫債券額面超過分		1,076,673
什器備品	複合複写機		1,177,632
その他の固定資産合計			2,254,305
固定資産合計			46,364,805
資産合計			50,319,717
(流動負債)			
前受会費	会費の前受		77,000
預り金	職員に対する源泉所得税及び住民税預かり		9,940
流動負債合計			86,940
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に対するもの	職員1名に対する退職金の支払いに備えたもの。	610,500
固定負債合計			610,500
負債合計			697,440
正味財産			49,622,277

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位 円)

科目	H28年度	H27年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,317,912	8,394,382	△ 5,076,470
未収会費	392,000	750,000	△ 358,000
未収入金	245,000	0	245,000
流動資産合計	3,954,912	9,144,382	△ 5,189,470
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	2,400,000	2,400,000	0
投資有価証券	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	32,400,000	32,400,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	610,500	483,000	127,500
特別事業引当資産	11,100,000	7,600,000	3,500,000
備品等購入引当資産	0	1,500,000	△ 1,500,000
特定資産合計	11,710,500	9,583,000	2,127,500
(3) その他の固定資産			
投資有価証券	1,076,673	1,133,355	△ 56,682
什器備品	1,177,632	0	1,177,632
その他の固定資産合計	2,254,305	1,133,355	1,120,950
固定資産合計	46,364,805	43,116,355	3,248,450
資産合計	50,319,717	52,260,737	△ 1,941,020
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	77,000	72,000	5,000
預り金	9,940	12,300	△ 2,360
流動負債合計	86,940	84,300	2,640
2. 固定負債			
退職給付引当金	610,500	483,000	127,500
固定負債合計	610,500	483,000	127,500
負債合計	697,440	567,300	130,140
III 正味財産の部			
一般正味財産	49,622,277	51,693,437	△ 2,071,160
(うち基本財産への充当額)	(32,400,000)	(32,400,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(11,100,000)	(9,100,000)	2,000,000
正味財産合計	49,622,277	51,693,437	△ 2,071,160
負債および正味財産合計	50,319,717	52,260,737	△ 1,941,020

正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位 円)

科目	H28年度	H27年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	403,267	389,082	14,185
受取会費			
正会員受取会費	4,179,000	4,400,200	△ 221,200
学生会員受取会費	184,000	187,000	△ 3,000
賛助会員受取会費	2,350,000	2,195,000	155,000
事業収益			
論文集発行事業収益	1,769,980	2,550,000	△ 780,020
雑収益			
受取利息	1,922	5,580	△ 3,658
学会誌・論文集等販売収入	229,258	331,217	△ 101,959
雑収入	233,017	380,000	△ 146,983
経常収益計	9,350,444	10,438,079	△ 1,087,635
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	1,638,502	1,480,000	158,502
臨時雇賃金	33,992	46,165	△ 12,173
謝金	0	0	0
編集費	174,960	165,240	9,720
印刷製本費	1,555,200	2,166,498	△ 611,298
研究会費	380,546	305,517	75,029
講演会費	600,000	190,744	409,256
海外交流費	859,277	1,151,860	△ 292,583
旅費交通費	1,040,868	854,900	185,968
会議費	140,963	93,373	47,590
通信運搬費	1,399,091	595,377	803,714
シンポジウム開催費	57,996	47,480	10,516
支払手数料	7,452	0	7,452
賃借料	280,000	0	280,000
徴収不能額	172,200	221,932	△ 49,732
雑費	171,067	169,936	1,131
事業費計	8,512,114	7,489,022	1,023,092
管理費			
給料手当	785,711	635,480	150,231
福利厚生費	261,089	14,214	246,875
通信運搬費	252,422	276,928	△ 24,506
臨時雇賃金	6,175	0	6,175
消耗品費	536,970	225,800	311,170
賃借料	120,248	403,042	△ 282,794
旅費交通費	462,660	229,544	233,116
会議費	15,144	3,632	11,512
謝金	86,400	0	86,400
手数料	102,529	83,006	19,523
減価償却費	40,608	210,000	△ 169,392
退職給付引当金繰入	127,500	90,000	37,500
雑費	112,034	106,626	5,408
管理費計	2,909,490	2,278,272	631,218
経常費用計	11,421,604	9,767,294	1,654,310
当期経常費用増減額	△ 2,071,160	670,785	△ 2,741,945
当期一般正味財産増減額	△ 2,071,160	670,785	△ 2,741,945
一般正味財産期首残高	51,693,437	51,022,652	670,785
一般正味財産期末残高	49,622,277	51,693,437	△ 2,071,160
II 正味財産期末残高	49,622,277	51,693,437	△ 2,071,160

正味財産増減計算書内訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位 円)

科目	公益目的事業会計			法人会計	内部取引消去	合計
	調査研究	啓発・広報	小計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益						
基本財産受取利息	201,634	201,633	403,267	0	0	403,267
受取会費						
正会員受取会費	1,043,000	1,043,000	2,086,000	2,093,000	0	4,179,000
学生会員受取会費	120,000	64,000	184,000	0	0	184,000
賛助会員受取会費	1,360,000	990,000	2,350,000	0	0	2,350,000
事業収益						
論文集発行事業収益	879,980	225,000	1,104,980	665,000	0	1,769,980
雑収益						
受取利息	1,922	0	1,922	0	0	1,922
学会誌・論文集等販売収入	104,708	124,550	229,258	0	0	229,258
雑収入	233,017	0	233,017	0	0	233,017
経常収益計	3,944,261	2,648,183	6,592,444	2,758,000	0	9,350,444
(2) 経常費用						
事業費						
給料手当	1,401,980	236,522	1,638,502	0	0	1,638,502
臨時雇賃金	19,537	14,455	33,992	0	0	33,992
謝金	0	0	0	0	0	0
編集費	174,960	0	174,960	0	0	174,960
印刷製本費		1,555,200	1,555,200	0	0	1,555,200
研究会費	380,546	0	380,546	0	0	380,546
講演会費	600,000	0	600,000	0	0	600,000
海外交流費	859,277	0	859,277	0	0	859,277
旅費交通費	923,688	117,180	1,040,868	0	0	1,040,868
会議費	17,370	123,593	140,963	0	0	140,963
通信運搬費	244,211	1,154,880	1,399,091	0	0	1,399,091
シンポジウム開催費	0	57,996	57,996	0	0	57,996
支払手数料	5,508	1,944	7,452	0	0	7,452
賃借料	200,000	80,000	280,000	0	0	280,000
徴収不能額	172,200	0	172,200	0	0	172,200
雑費	149,352	21,715	171,067	0	0	171,067
事業費計	5,148,629	3,363,485	8,512,114	0	0	8,512,114
管理費						
給料手当	0	0	0	785,711	0	785,711
福利厚生費	0	0	0	261,089	0	261,089
通信運搬費	0	0	0	252,422	0	252,422
臨時雇賃金	0	0	0	6,175	0	6,175
消耗品費	0	0	0	536,970	0	536,970
賃借料	0	0	0	120,248	0	120,248
旅費交通費	0	0	0	462,660	0	462,660
会議費	0	0	0	15,144	0	15,144
謝金	0	0	0	86,400	0	86,400
手数料	0	0	0	102,529	0	102,529
減価償却費	0	0	0	40,608	0	40,608
退職給付引当金繰入	0	0	0	127,500	0	127,500
雑費	0	0	0	112,034	0	112,034
管理費計	0	0	0	2,909,490	0	2,909,490
経常費用計	5,148,629	3,363,485	8,512,114	2,909,490	0	11,421,604
当期経常費用増減額	△ 1,204,368	△ 715,302	△ 1,919,670	△ 151,490	0	△ 2,071,160
当期一般正味財産増減額	△ 1,204,368	△ 715,302	△ 1,919,670	△ 151,490	0	△ 2,071,160
一般正味財産期首残高	25,846,503	22,176,177	48,022,680	3,670,757	0	51,693,437
一般正味財産期末残高	24,642,135	21,460,875	46,103,010	3,519,267	0	49,622,277
II 正味財産期末残高	24,642,135	21,460,875	46,103,010	3,519,267	0	49,622,277

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準および評価方法について
満期保有目的の債券については償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法について
定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準について
退職給付引当金 … 期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理について
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産および特定資産の増減額およびその残高
基本財産および特定資産の増減額およびその残高は、次の通りである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	2,400,000	0	0	2,400,000
投資有価証券	30,000,000	0	0	30,000,000
小計	32,400,000	0	0	32,400,000
特定資産				
退職給付引当資産	483,000	127,500	0	610,500
特別事業引当資産	7,600,000	3,500,000	0	11,100,000
備品等購入引当資産	1,500,000	0	1,500,000	0
小計	9,583,000	3,627,500	1,500,000	11,710,500
合計	41,983,000	3,627,500	1,500,000	44,110,500

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳
基本財産および特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	2,400,000	0	(2,400,000)	0
投資有価証券	30,000,000	0	(30,000,000)	0
小計	32,400,000	0	(32,400,000)	0
特定資産				
退職給付金引当資産	610,500	0	0	(610,500)
特別事業引当資産	11,100,000	0	(11,100,000)	0
小計	11,710,500	0	(11,100,000)	(610,500)
合計	44,110,500	0	(43,500,000)	(610,500)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,218,240	40,608	1,177,632
合計	1,218,240	40,608	1,177,632

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価および評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価および評価損益は、次の通りである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
19年度5回大阪市公募公債	10,000,000	10,094,000	94,000
155回利付国庫債券	11,076,673	10,866,000	△ 210,673
147回 利付国庫債券	10,000,000	11,813,000	1,813,000
合計	31,076,673	32,773,000	1,696,327

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているので省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	前期残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	483,000	127,500	0	0	610,500

(参考) 公益社団法人 日本航海学会H28年度 収支計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位:円)

	予算額					執行額					差異 (執行額-予算額)
	公益目的事業会計			法人会計	合計	公益目的事業会計			法人会計	合計	
	調査研究	啓発・広報	小計			調査研究	啓発・広報	小計			
1. 事業活動収支の部											
(1) 事業活動収入											
基本財産運用益	251,000	199,000	450,000	0	450,000	229,975	229,974	459,949	0	459,949	9,949
基本財産利息	251,000	199,000	450,000	0	450,000	229,975	229,974	459,949	0	459,949	9,949
受取会費	2,663,000	2,088,000	4,751,000	2,198,000	6,949,000	2,523,000	2,097,000	4,620,000	2,093,000	6,713,000	△ 236,000
正会員会費	1,198,000	1,000,000	2,198,000	2,198,000	4,396,000	1,043,000	1,043,000	2,086,000	2,093,000	4,179,000	△ 217,000
学生会員会費	120,000	88,000	208,000	0	208,000	120,000	64,000	184,000	0	184,000	△ 24,000
賛助会員会費	1,345,000	1,000,000	2,345,000	0	2,345,000	1,360,000	990,000	2,350,000	0	2,350,000	5,000
事業収益	1,000,000	400,000	1,400,000	1,000,000	2,400,000	879,980	225,000	1,104,980	665,000	1,769,980	△ 630,020
論文集発行事業	1,000,000	400,000	1,400,000	1,000,000	2,400,000	879,980	225,000	1,104,980	665,000	1,769,980	△ 630,020
シンポジウム収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	345,000	300,000	645,000	0	645,000	339,647	124,550	464,197	0	464,197	△ 180,803
受取利息	5,000	0	5,000	0	5,000	1,922	0	1,922	0	1,922	△ 3,078
論文集及び学会誌	200,000	300,000	500,000	0	500,000	104,708	124,550	229,258	0	229,258	△ 270,742
雑収入	140,000	0	140,000	0	140,000	233,017	0	233,017	0	233,017	93,017
当期収入合計(a)	4,259,000	2,987,000	7,246,000	3,198,000	10,444,000	3,972,602	2,676,524	6,649,126	2,758,000	9,407,126	△ 1,036,874
(2) 事業活動支出											
事業費	5,174,000	3,991,000	9,165,000		9,165,000	5,148,629	3,363,485	8,512,114		8,512,114	△ 652,886
給料手当	1,360,000	340,000	1,700,000		1,700,000	1,401,980	236,522	1,638,502		1,638,502	△ 61,498
臨時雇賃金	70,000	140,000	210,000		210,000	19,537	14,455	33,992		33,992	△ 176,008
謝金	60,000	0	60,000		60,000	0	0	0		0	△ 60,000
編集費	315,000	30,000	345,000		345,000	174,960	0	174,960		174,960	△ 170,040
印刷製本費	0	2,260,000	2,260,000		2,260,000	0	1,555,200	1,555,200		1,555,200	△ 704,800
研究会費	310,000	0	310,000		310,000	380,546	0	380,546		380,546	70,546
講演会費	600,000	0	600,000		600,000	600,000	0	600,000		600,000	0
海外交流費	1,070,000	0	1,070,000		1,070,000	859,277	0	859,277		859,277	△ 210,723
旅費交通費	824,000	180,000	1,004,000		1,004,000	923,688	117,180	1,040,868		1,040,868	36,868
会議費	35,000	100,000	135,000		135,000	17,370	123,593	140,963		140,963	5,963
通信運搬費	175,000	736,000	911,000		911,000	244,211	1,154,880	1,399,091		1,399,091	488,091
シンポジウム開催費	0	100,000	100,000		100,000	0	57,996	57,996		57,996	△ 42,004
支払手数料	0	0	0		0	5,508	1,944	7,452		7,452	0
賃借料	200,000	80,000	280,000		280,000	200,000	80,000	280,000		280,000	0
徴収不能額	0	0	0		0	172,200	0	172,200		172,200	172,200
雑費	155,000	25,000	180,000		180,000	149,352	21,715	171,067		171,067	△ 8,933
管理費				2,410,000	2,410,000				2,741,382	2,741,382	331,382
給料手当				650,000	650,000				785,711	785,711	135,711
福利厚生費				25,000	25,000				261,089	261,089	236,089
通信運搬費				330,000	330,000				252,422	252,422	△ 77,578
臨時雇賃金				0	0				6,175	6,175	6,175
消耗品費				400,000	400,000				536,970	536,970	136,970
賃借料				130,000	130,000				120,248	120,248	△ 9,752
旅費交通費				630,000	630,000				462,660	462,660	△ 167,340
会議費				24,000	24,000				15,144	15,144	△ 8,856
謝金				87,000	87,000				86,400	86,400	△ 600
手数料				124,000	124,000				102,529	102,529	△ 21,471
雑費				10,000	10,000				112,034	112,034	102,034
事業活動支出合計(c)	5,174,000	3,991,000	9,165,000	2,410,000	11,575,000	5,148,629	3,363,485	8,512,114	2,741,382	11,253,496	△ 321,504
事業活動収支差額(d = a - c)	△ 915,000	△ 1,004,000	△ 1,919,000	788,000	△ 1,131,000	△ 1,176,027	△ 686,961	△ 1,862,988	16,618	△ 1,846,370	△ 715,370
2. 投資活動収支の部											
(1) 投資活動収入											
備品等購入引当資産取崩収入	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	0
投資活動収入計	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	0
(2) 投資活動支出											
退職給付引当資産取得支出	0	0	0	127,500	127,500	0	0	0	127,500	127,500	0
特別事業引当資産取得支出	3,500,000	0	3,500,000	0	3,500,000	3,500,000	0	3,500,000	0	3,500,000	0
什器備品取得支出	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	1,218,240	0	1,218,240	0	1,218,240	△ 281,760
投資活動支出計	5,000,000	0	5,000,000	127,500	5,127,500	4,718,240	0	4,718,240	127,500	4,845,740	△ 281,760
投資活動収支差額(e)	△ 3,500,000	0	△ 3,500,000	△ 127,500	△ 3,627,500	△ 3,218,240	0	△ 3,218,240	△ 127,500	△ 3,345,740	281,760
当期収支差額(f = d + e)	△ 4,415,000	△ 1,004,000	△ 5,419,000	660,500	△ 4,758,500	△ 4,394,267	△ 686,961	△ 5,081,228	△ 110,882	△ 5,192,110	△ 433,610
前期繰越収支差額					9,060,082					9,060,082	0
次期繰越収支差額	△ 4,415,000	△ 1,004,000	△ 5,419,000	660,500	4,301,582					3,867,972	△ 433,610


監 査 報 告 書

平成 29 年 4 月 25 日

公益社団法人 日本航海学会
会長 古莊 雅生 殿

公益社団法人 日本航海学会

監事

國枝 佐明 

監事

鈴木 治 

私ども監事 2 名は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの公益社団法人日本航海学会会計及び業務の監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類（正味財産増減計算書、貸借対照表）、その附属明細書及び財産目録並びに収支計算書の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 計算書類、その附属明細書及び財産目録並びに収支計算書は、会計帳簿の金額と一致し、いずれも適法に処理されていることを認めます。
- (2) 事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

第3号議案

細則 第3章 代議員の選出 選挙管理委員会/選挙管理委員会の運営の改正

改正案	現行
<p>公益社団法人日本航海学会 細則（規則20000） （選挙管理委員会） 第8条 4 選挙管理委員会は、会長から委嘱された正会員4名及び会長もしくは副会長の職にあった者1名からなる5名により構成される。</p>	<p>公益社団法人日本航海学会 細則（規則20000） （選挙管理委員会） 第8条 4 選挙管理委員会は、会長から委嘱された正会員4名及び前会長もしくは前副会長1名からなる5名により構成される。</p>
<p>公益社団法人日本航海学会 細則（規則20000） （選挙管理委員会） 第8条 7 委員の任期は、選任の2年後に実施される代議員選挙のための選挙管理委員会設置時までとする。</p>	<p>公益社団法人日本航海学会 細則（規則20000） （選挙管理委員会） 第8条 7 委員の任期は、代議員選挙実施後、最初に行われる定時総会終了までとする。</p>
<p>公益社団法人日本航海学会 細則（規則20000） （選挙管理委員会の運営） 第9条 委員長は会長もしくは副会長の職にあった者をもってあてることとし、選挙管理委員会を代表する。</p>	<p>公益社団法人日本航海学会 細則（規則20000） （選挙管理委員会の運営） 第9条 委員長は前会長もしくは前副会長をもってあてることとし、選挙管理委員会を代表する。</p>

細則 第3章 代議員の選出選挙管理委員会/選挙管理委員会の運営の改正

改正後

附表（代議員候補者の地区別定員）

地区名	定員	補欠	備考
北海道、東北、 関東地区	33	10	北海道、青森県、秋田県、 岩手県、山形県、宮城県、 福島県、群馬県、栃木県、 茨城県、埼玉県、東京都、 千葉県、神奈川県
東海、北陸、 近畿地区	17	4	新潟県、富山県、石川県、 福井県、岐阜県、長野県、 山梨県、静岡県、愛知県、 三重県、滋賀県、奈良県、 和歌山県、京都府、大阪府、 兵庫県
中国、四国、 九州地区	10	3	山口県、鳥取県、岡山県、 島根県、広島県、香川県、 愛媛県、徳島県、高知県、 福岡県、佐賀県、長崎県、 大分県、宮崎県、熊本県、 鹿児島県、沖縄県

現行

附表（代議員候補者の地区別定員）

地区名	定員	補欠	備考
北海道、東北、 関東地区	36	10	北海道、青森県、秋田県、 岩手県、山形県、宮城県、 福島県、群馬県、栃木県、 茨城県、埼玉県、東京都、 千葉県、神奈川県
東海、北陸、 近畿地区	14	4	新潟県、富山県、石川県、 福井県、岐阜県、長野県、 山梨県、静岡県、愛知県、 三重県、滋賀県、奈良県、 和歌山県、京都府、大阪府、 兵庫県
中国、四国、 九州地区	10	3	山口県、鳥取県、岡山県、 島根県、広島県、香川県、 愛媛県、徳島県、高知県、 福岡県、佐賀県、長崎県、 大分県、宮崎県、熊本県、 鹿児島県、沖縄県

1. 平成 28 年度事業報告

I 調査研究事業

事業の内容：航海に関する調査研究を実施すると共に、それらの成果を基に講演会・シンポジウム等の開催、論文集の発行等を行う調査研究事業

(1) 研究会活動

各研究会（航法システム、シーマンシップ、海上交通工学、海洋工学、航空宇宙、物流、海上交通法規、操船シミュレータ、GPS/GNSS）は、それぞれの研究計画に基づいて航海に関する分野の最新・先端に関する学術分野の調査・研究活動を行い、調査・研究成果は春と秋の講演会において発表し、その概要を学会誌「NAVIGATION」に発表した。また、国内外の他学会が開催する共通する研究テーマに関する研究活動に参加した。

(2) 学術講演会

航海に関する分野の学術講演会を開催した。

第 134 回 講演会 平成 28 年 5 月 19 日（木）、20 日（金）（神戸）
発表件数 65 件（一般・フレッシュマン 41 件、研究会 24 件）
見学会 2 件
参加者数：215 名

第 135 回 講演会 平成 28 年 10 月 28 日（金）、29 日（土）（呉）
発表件数 47 件（一般・フレッシュマン 33 件、研究会 14 件）
見学会 4 件
参加者数：240 名

(3) 日本航海学会論文集の発行

航海に関する分野の最新・先端の学術論文を、論文審査委員会が審査し、適切と認める論文をまとめて、J-STAGE 上において電子ジャーナルとして論文集を発行した。

日本航海学会論文集 第 134 巻 平成 28 年 6 月発行
日本航海学会論文集 第 135 巻 平成 28 年 12 月発行

(4) 日本航海学会英文論文誌の発行

航海に関する研究成果を世界に発信し、本学会の技術・学術情報交流の国際化を進めるため、日本航海学会英文論文誌を発行し、J-STAGE 上において電子ジャーナルとして公開した。

Transactions of Navigation Vol.2 No.1 平成 29 年 3 月発行

(5) 国際対応

アジアにおける航海に関する学術シンポジウムとして、中国航海学会(CIN)、韓国航海・港湾学会(KINPR)との共催による ANC(Asia Navigation Conference)を平成 29 年度は KINPR の担当で、11 月 10 日(木)から 12 日(土)に韓国・麗水にて開催し 94 名が参加した。

また、PAAMES(Pan Asian Association of Maritime Engineering Societies)、ENC(European Navigation Conference)等の関連国際学会・機関との関連を保ち、その会議等に古荘会長、新井康夫元会長が参加した。

平成 30 年の ANC および IAIN の日本開催に向けて実行委員会を立ち上げ、準備を本格化させた。

(6) シンポジウム等の開催

平成 28 年 1 月、海洋工学研究会は「海事人材不足の現状と課題を考える～枯渇する海事人材～」をテーマとするシンポジウムを大分県臼杵市で開催した。

(7) 日本航海学会航海用語集の改訂

学会創立 70 周年までに用語集改訂版の公表を目指して、規格委員会、研究委員会のもとで航海に関する用語および単位系の具体的な検討を行った。

II 啓発・広報事業

事業の内容：航海に関する学術の普及促進及び啓発広報事業

(1) 会誌発行

航海に関する活動を広く周知するため、会誌を発行した。会誌は年 4 回発行し、会員には無料で配付し、非会員に対しては有料で配付するとともに、J-STAGE 上においても電子書籍として発行した。

日本航海学会誌 (NAVIGATION) 第 196 号 平成 28 年 4 月発行

日本航海学会誌 (NAVIGATION) 第 197 号 平成 28 年 7 月発行

日本航海学会誌 (NAVIGATION) 第 198 号 平成 28 年 10 月発行

日本航海学会誌 (NAVIGATION) 第 199 号 平成 29 年 1 月発行

(2) 電子情報サービス

学会活動を広く周知するため、ホームページ内容の見直しおよびホームページによる情報提供事業を推進した。英文ホームページの充実を図るとともに、IAIN2018 の開催に向けて専用のホームページを開設した。

(3) ほう賞事業

平成 27 年度中に発行された論文集の中から航海に関する研究成果・技術等に関して顕著な功績を挙げた著者に対して「論文賞」および「奨励賞」を授与し、その成果を称えと共に、これらの成果を広く周知した。

また、我が国において航海に関連した分野において顕著な業績を挙げた者に対して「航海功績賞」を授与し、平成 28 年 7 月 7 日の海事三学会合同表彰式において表彰した。

さらに、航海に関する教育機関の推薦により、平成 28 年度卒業の優秀な学生に「奨学ほう

賞」を授与した。

論文賞 2 件、奨励賞 1 名、航海功績賞 1 件、奨学ほう賞 18 件

Ⅲ 総会及び委員会の開催

(1) 定時総会

定時総会 平成 28 年 5 月 19 日 (木) (神戸)

(2) 会議の開催

1. 理事会	6 回
2. 代議員連絡会	1 回
3. 論文審査委員会	2 回
4. 英文論文審査委員会	14 回(メール審議)
5. 編集委員会	4 回
6. 研究委員会	4 回
7. 情報委員会	0 回
8. IAIN 実行委員会	4 回
9. 事務局会議	8 回

(3) 規則の整備及び事業の改善

学会活性化を図るために事業の改善を行った。

新設

規則-20472	公益社団法人日本航海学会	ASIA Navigation Conference(ANC)に関する申し合わせ
規則-20650	公益社団法人日本航海学会	若手研究者助成規程
規則-20651	公益社団法人日本航海学会	若手研究者助成対象者の選考に関する申合せ
規則-20652	公益社団法人日本航海学会	若手研究者助成費の支給に関する申合せ

改定

規則-20110	公益社団法人日本航海学会	名誉会員及び終身会員称号付与規程
規則-10830	公益社団法人日本航海学会	公印取扱規程

以上

2. 平成 29 年度事業計画

I. 学会の方針

平成 24 年度から公益社団法人となった本学会は、航海に関する唯一の学術団体として、社会に貢献するための公益目的事業を行う。定款の目的事業は、(1)講演会等の開催、並びに論文集等の発行 (2)調査及び研究 (3)航海並びに航海に関する学術の啓発及び広報 (4)ほう賞 (5)その他本会の目的を達成するために必要な事業である。これらの目的を達成するためには、バランスのとれた収支構造のもとで、魅力ある学会として持続的に発展できることが重要である。公益社団法人として発展していくための財務の適正化と規則整備および法人としての運営機能の強化、産学に開かれた学会となるための学会価値と会員メリットの向上および運営負担の平準化を進めてきた。

平成 29 年度は学会活動を円滑に行い、持続的発展を推進するために、研究会を中心とした研究活動の活性化、和文論文集及び英文論文誌の充実、若手研究者支援、航海用語集の改訂作業、学会誌・ホームページによる情報発信の高度化を図るとともに、本学会の広報活動を積極的に行い、正会員および賛助会員の新規加入を促進する。また、平成 30 年の学会創立 70 周年記念事業の一環として開催する IAIN(International Association of Institutes of Navigation)、ANC(Asia Navigation Conference)及び関連記念事業に向けて具体的な準備を本格化させる。

II. 調査研究事業

事業の内容：航海に関する調査研究を実施すると共に、それらの成果を基に講演会・シンポジウム等の開催、論文集の発行等を行う調査研究事業

(1) 研究会活動

各研究会（航法システム、シーマンシップ、海上交通工学、海洋工学、航空宇宙、物流、海上交通法規、操船シミュレータ、GPS/GNSS）は、それぞれの研究計画に基づいて航海に関する分野の最新・先端に関する学術分野の調査・研究活動を行う。調査・研究成果は春と秋の講演会において発表し、その概要を学会誌「NAVIGATION」に発表する。

(2) 学術講演会

一般講演、研究会講演を含め、2 日間にわたって航海に関する分野の学術講演会を開催する。

第 136 回 講演会 平成 29 年 5 月 20 日(土)、21 日(日)（東京）

第 137 回 講演会 平成 29 年 10 月 20 日(金)、21 日(土)（神戸）

(3) 日本航海学会論文集の発行

航海に関する分野の最新・先端の学術論文を、論文審査委員会で審査し、適切と認める論文をまとめて論文集を J-Stage 上で発行、公開する。

日本航海学会論文集 第 136 巻 平成 29 年 6 月発行

日本航海学会論文集 第 137 巻 平成 29 年 12 月発行

(4) 日本航海学会英文論文誌(Transactions of Navigation)の発行

航海に関する分野の最新・先端の英文学術論文を、英文論文審査委員会で審査し、適切と認める論文をまとめて論文集を J-Stage 上で発行、公開する

Transactions of Navigation Vol.2 No. 2 平成 29 年 9 月

Transactions of Navigation Vol.3 No. 1 平成 30 年 3 月

(5) 国際対応

アジアにおける航海に関する学術シンポジウムとして、中国航海学会(CIN)、韓国航海・港湾学会(KINPR)との共催による ANC を開催する。平成 29 年度は CIN の担当で、平成 29 年 11 月 23 日(木)から 25 日(土)に 中国（広東）で開催する。また、IAIN、PAAMES(Pan Asian Association of Maritime Engineering Societies)、ENC(European Navigation Conference)等の関連国際学会・機関との関連を保ち、必要に応じてその会議等に参加する。

平成 30 年の ANC および IAIN の日本開催に向けて準備を本格化させる。

(6) シンポジウム等の開催

航海に関する分野の最新・先端の技術動向を広く海事分野の関係者に周知するため、シンポジウム等を開催する。

(7) 航海学会用語集の改訂

規格委員会のもとで航海に関する用語および単位系の検討を進め、学会創立 70 周年となる平成 30 年春までに用語集改訂版の公表をする。

(8) 若手研究者の支援

本会所属の若手研究者が講演会に参加するに際し、これを支援するために、講演会参加のための費用の一部を助成する。

Ⅲ. 啓発・広報事業

事業の内容：航海に関する学術の普及促進及び啓発広報事業

(1) 会誌発行

航海に関する活動を広く周知するため、会誌を発行する。会誌は年 4 回発行し会員に配布するとともに、J-Stage 上に公開する。

日本航海学会誌 (NAVIGATION) 第 200 号 平成 29 年 4 月発行

日本航海学会誌 (NAVIGATION) 第 201 号 平成 29 年 7 月発行

日本航海学会誌 (NAVIGATION) 第 202 号 平成 29 年 10 月発行

日本航海学会誌 (NAVIGATION) 第 203 号 平成 30 年 1 月発行

(2) 電子情報サービス

学会活動を広く周知するため、ホームページ内容の見直しおよびホームページによる情報提供事業を推進するとともに会員向けニュースレターのメール配信を行う。また、英文ホームペ

ージの充実を図る。

(3) ほう賞事業

航海に関する研究成果・技術等の功績を「論文賞」及び「奨励賞」として会員を対象として表彰し、その成果を称えると共に、これらの成果を広く周知する。また、我が国において、航海に関連した分野における顕著な業績を「航海功績賞」として積極的に選定し、海の日週間に海事三学会合同表彰式においてほう賞する。さらに、航海に関する教育機関の推薦により、優秀な学生に「奨学ほう賞」を授与する。

今年度から「優秀講演賞(仮称)」を創設し、優秀な講演を行った若手研究者を表彰することとする。

IV. 総会及び委員会の開催

(1) 定時総会

平成 29 年度定時総会 平成 29 年 5 月 20 日 (土) (東京)

(2) 会議の開催

理事会	4 回
代議員連絡会	1 回
論文審査委員会	2 回
英文論文審査委員会	2 回
編集委員会	4 回
研究委員会	4 回
情報委員会	2 回
規格委員会	1 回
IAIN 実行委員会	6 回
事務局会議	随時

3. 平成29年度収支予算

公益社団法人 日本航海学会 平成29度 収支予算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位:円)

	公益目的事業会計			法人会計	合計	(参考)前年度	(参考)増減
	調査研究	啓発・広報	小計				
1. 事業活動収支の部							
(1) 事業活動収入							
基本財産運用益	230,000	229,000	459,000	0	459,000	450,000	9,000
基本財産利息収入	230,000	229,000	459,000	0	459,000	450,000	9,000
受取会費	2,450,000	2,008,000	4,458,000	1,988,000	6,446,000	6,949,000	△ 503,000
正会員会費収入	1,050,000	938,000	1,988,000	1,988,000	3,976,000	4,396,000	△ 420,000
学生会員会費収入	80,000	70,000	150,000	0	150,000	208,000	△ 58,000
賛助会員会費収入	1,320,000	1,000,000	2,320,000	0	2,320,000	2,345,000	△ 25,000
事業収益	1,084,000	400,000	1,484,000	400,000	1,884,000	2,400,000	△ 516,000
論文集発行事業収入	1,084,000	400,000	1,484,000	400,000	1,884,000	2,400,000	△ 516,000
雑収益	305,000	200,000	505,000	0	505,000	645,000	△ 140,000
受取利息収入	5,000	0	5,000	0	5,000	5,000	0
学会誌別刷り	100,000	200,000	300,000	0	300,000	500,000	△ 200,000
雑収入	200,000	0	200,000	0	200,000	140,000	60,000
事業活動収入計	4,069,000	2,837,000	6,906,000	2,388,000	9,294,000	10,444,000	△ 1,150,000
(2) 事業活動支出							
事業費	5,539,000	3,619,000	9,158,000		9,158,000	9,165,000	△ 7,000
給料手当	1,400,000	440,000	1,840,000		1,840,000	1,700,000	140,000
臨時雇賃金	70,000	0	70,000		70,000	210,000	△ 140,000
謝金	60,000	0	60,000		60,000	60,000	0
編集費	315,000	30,000	345,000		345,000	345,000	0
印刷製本費	0	2,460,000	2,460,000		2,460,000	2,260,000	200,000
研究会費	320,000	0	320,000		320,000	310,000	10,000
講演会費	500,000	0	500,000		500,000	600,000	△ 100,000
海外交流費	1,070,000	0	1,070,000		1,070,000	1,070,000	0
シンポジウム開催費	0	100,000	100,000		100,000	100,000	0
会議費	39,000	120,000	159,000		159,000	135,000	24,000
旅費交通費	964,000	180,000	1,144,000		1,144,000	1,004,000	140,000
通信運搬費	446,000	174,000	620,000		620,000	911,000	△ 291,000
賃借料	200,000	80,000	280,000		280,000	280,000	0
消耗品費	5,000	5,000	10,000		10,000	10,000	0
雑費	150,000	30,000	180,000		180,000	170,000	10,000
管理費				3,342,200	3,342,200	2,410,000	932,200
給料手当				920,000	920,000	650,000	270,000
福利厚生費				372,000	372,000	25,000	347,000
会議費				28,200	28,200	24,000	4,200
旅費交通費				1,154,000	1,154,000	630,000	524,000
通信運搬費				280,000	280,000	330,000	△ 50,000
消耗品費				246,000	246,000	400,000	△ 154,000
賃借料				121,000	121,000	130,000	△ 9,000
諸謝金				87,000	87,000	87,000	0
手数料支出				124,000	124,000	124,000	0
雑費				10,000	10,000	10,000	0
事業活動支出計	5,539,000	3,619,000	9,158,000	3,342,200	12,500,200	11,575,000	925,200
事業活動収支差額	△ 1,470,000	△ 782,000	△ 2,252,000	△ 954,200	△ 3,206,200	△ 1,131,000	△ 2,075,200
2. 投資活動収支の部							
(1) 投資活動収入							
特別事業引当資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0
備品等購入引当資産取崩収入	0	0	0	0	0	1,500,000	△ 1,500,000
投資活動収入計	0	0	0	0	0	1,500,000	△ 1,500,000
(2) 投資活動支出							
退職給付引当資産取得支出	0	0	0	127,500	127,500	127,500	0
備品等購入引当資産支出	0	0	0	0	0	1,500,000	△ 1,500,000
特別事業引当資産取得支出	500,000	0	500,000	0	500,000	3,500,000	△ 3,000,000
投資活動支出計	500,000	0	500,000	127,500	627,500	5,127,500	△ 4,500,000
投資活動収支差額	△ 500,000	0	△ 500,000	△ 127,500	△ 627,500	△ 3,627,500	3,000,000
当期収支差額	△ 1,970,000	△ 782,000	△ 2,752,000	△ 1,081,700	△ 3,833,700	△ 4,758,500	924,800
前期繰越収支差額					3,867,972		
次期繰越収支差額	△ 1,970,000	△ 782,000	△ 2,752,000	△ 1,081,700	34,272		

事業年度 自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

法人コード A011872
法人名 公益社団法人日本航海学会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定 なし

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定 なし

4. 平成 28 年度 論文賞、奨励賞、奨学ほう賞

(1) 論文賞 (2 件)

日本航海学会論文集第 135 巻、pp.27-34

変則型形状コンテナターミナルにおけるブロックサイジング

西村 悦子・栢野 靖子

Transactions of Navigation Vol.2 No.1, 2017 ,pp. 1-13

Judging Vessel Courses via the Horizontal Distance Between Two Masthead Lights

Shoji FUJIMOTO , Akari KONDO, Masaki FUCHI, Tsukasa KONISHI,

Hiroyuki MATSUMOTO and Tomohisa NISHIMURA

(2) 奨励賞 (1 名)

笹原 裕太郎

(3) 奨学ほう賞 (18 件)

出身校	しめい 氏名	題名	授与日
富山高等専門学校 商船学科	たなか ふみえ 田中 布美恵	筏の復原性について	9/27(火)
鳥羽商船高等専門学校 商船学科	まつい しゅうすけ 松井 秀介	海技士国家試験学習システムの構築	9/25(日)
大島商船高等専門学校 商船学科(航海コース)	しのざき わたる 篠崎 航	ECDIS 訓練用マニュアルによる訓練補助について	9/21(水)
広島商船高等専門学校 商船学科	なかがわ たかと 中川 嵩斗	權伝馬の船体計測に関する研究	9/24(土)
弓削商船高等専門学校 商船学科	うまこし たかひろ 馬越 貴大	Arduino を用いた航海監視機器の製作に関する研究	9/25(日)
	たにぐち としまる 谷口 俊丸		
海技大学校 海上技術コース (航海専修)	はら こうへい 原 康平	内航船における英語による無線通信促進に関する研究	3/17 (金)
海上保安大学校 航海科	たなか こうさく 田中 公作	荒天下における浅喫水船の操縦性能に関する研究	3/20 (月)
	こくぼ たつや 小久保 達也		
鹿児島大学 水産学部 水産資源科学分野	つかはら しおん 塚原 志恩	練習船かごしま丸の自動船位保持装置の性能評価	3/24 (金)
神戸大学海事科学部 グローバル輸送科学科 航海マネジメントコース	くわき ゆうき 桑木 裕基	南鳥島周辺海域における海底資源評価のための海底地形及び反射散乱強度解析	3/24 (木)
神戸大学海事科学部 グローバル輸送科学科 ロジスティクスコース	ごとう けんた 後藤 健太	外航クルーズ客船誘致による経済波及効果に関する研究 ～境港を対象にしたスピルオーバー問題に関する検討～	

出身校	しめい 氏名	題名	授与日
水産大学校 海洋生産管理学科	よしだ たかひろ 吉田 孝大	ECDIS の操作性に関する一考察	3/20(月)
東海大学海洋学部 航海工学科航海学専攻	ささき りょう 佐々木 亮	外航定期航路に就航する船舶を対象とした月別推薦航路の考案	3/25 (土)
東京海洋大学海洋工学部 海事システム工学科 航海システムコース	おきた ゆうき 沖田 祐樹	衝突回避操船時のブリッジチームにおける情報交換に関する研究	3/23 (木)
	まつの しゅうたろう 松野 修太郎	台風活動の年々変動に関する研究	
東京海洋大学海洋工学部 流通情報工学科	ふじた まゆ 藤田 真由	内陸における海上コンテナ混載物流の発生要因に関する研究	
東京海洋大学海洋科学部 海洋環境学科	おおいし つばさ 大石 翼	陸上固定レーダの画像を用いた東京湾における漁業モニタリングの試み	
長崎大学水産学部 水産学科	なかしま りょう 中島 良	東シナ海における漂流ごみの現状把握と変遷	3/24 (金)
北海道大学水産学部 海洋資源科学科	きつない こうき 橘内 昂輝	CFDを用いた漁船航行時の造波現象の推定	3/24 (金)

5. 平成 28 年度 航海功績賞

海事分野における高専・産業界連携による人材育成システムの開発

富山高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、広島商船高等専門学校、
大島商船高等専門学校、弓削商船高等専門学校、一般社団法人 日本船主協会、
一般社団法人 全日本船舶職員協会、全日本海員組合、国際船員労務協会

「実践航海術」の出版による最新の航海術の海事産業への紹介、並びに新たな研究テーマへの示唆

株式会社 日本海洋科学

6. 平成 28 年度会員異動状況

会員種別	H28.3.31		入会	退会	移動		増	減	増減	H29.3.31	
	会員数				入	出				会員数	
正会員	733		16	20	19	9	35	29	6	739	
名誉		31	0	1	0	0	0	1	-1		30
終身		75	0	0	8	0	8	0	8		83
一般		627	16	19	11	9	27	28	-1		626
学生会員	123		27	8	1	11	28	19	9	132	
賛助会員	38		3	0	0	0	3	0	3	41	
団体特級		0	0	0	0	0	0	0	0		0
1		2	0	0	0	0	0	0	0		2
2		3	0	0	0	0	0	0	0		3
3		10	0	0	0	0	0	0	0		10
4		22	2	0	0	0	2	0	2		24
個人		1	1	0	0	0	1	0	1		2
合計	894		46	28	20	20	66	48	18	912	

7. 終身会員の報告

石川 次郎、岩下 茂、浦 環、小町 啓人、武田 誠一、辻 啓介、古莊 雅生
村山 義夫、安田 明生、矢野 吉治

8. 幹事の交代

幹事名	旧幹事	新幹事	任 期
主務幹事	石橋 篤	南 清和	H29. 6. 1～H31. 5. 31

以上